



introduction

序

京都医療センターのアニユアルレポート令和3年度版を作成いたしました。

令和3年度も新型コロナウイルスは世界的に流行し、国内でも医療提供体制がひっ迫して病院に入院できずに自宅で死亡するケースが相次ぎました。7月には静岡県熱海市で盛り土が原因となる大規模な土石流が発生し、27人が死亡しました。10月には菅義偉首相の後任として岸田文雄前政調会長が第100代首相に就任し、12月には真鍋淑郎氏が地球温暖化の予測手法を確立した功績でノーベル物理学賞を受賞しました。スポーツ界ではゴルフのマスターズ・トーナメントで松山英樹選手がアジア勢初優勝、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で1年延期された東京五輪・パラリンピックでは日本勢が史上最多のメダル58個（金27）を獲得し、米大リーグ、エンゼルスの大谷翔平選手は投打の「二刀流」でア・リーグ最優秀選手（MVP）に選出されました。将棋界では藤井聡太九段が叡王と竜王を獲得して史上初の10代四冠を達成しました。海外では、8月にアフガニスタン駐留米軍が完全撤収してタリバンが再度権力を掌握し、令和4年2月にはロシアがウクライナに軍事侵攻する大事件が起こりました。

当院では軽症から重症の新型コロナウイルス感染症患者さんの診療を継続するとともに、社会からの要請に応じて、京都府宿泊療養施設の夜間診療への医師派遣、厚労省による広域派遣依頼に基づく沖縄への看護師派遣、京都府入院待機ステーションへの医師・看護師・事務職員派遣、大阪府臨時医療施設への医師・看護師・薬剤師派遣、東京都臨時医療施設への医師・看護師派遣も積極的に行いました。働き方改革に対する取り組みとしては、各診療科カンファレンス等の時間外開催の見直し、タスクシフト推進のため医師事務作業補助者の採用枠を増加しました。その他の取り組みとしては、5月に助産分娩の再開、6月にクリーンルームの運用再開、7月に広報戦略室の設置、8月にMRI更新（1.5→3テスラ）、12月にハイブリッド手術室の運用開始、令和4年3月には特別室個室病棟修繕工事、内視鏡センター拡張整備、外来管理診療棟の会議室修繕工事と内装修繕、患者及びゲスト用Wi-Fi整備、健診センター廃止を行いました。一方、令和3年度の経営は、医業収支は6億1千万円の赤字、経常収支は23億3千万円の黒字でした。

当院はこれからも、この街の医療をささえる病院として、地域の皆さまに愛され続けるよう頑張っています。今後ともご支援ご協力の程、何卒よろしく願い申し上げます。

院長 小池 薫